

学校だより

四日市市立八郷小学校発
平成24年3月23日発行

《 No.35 》

【平成23年度 修了式】

いよいよ、本日で平成23年度も終了です。保護者の皆さん、地域の方々から多大なご支援とご協力をいただき、1年の最後の日を迎えることができました。ありがとうございました。

昨年の3月11日の東日本大震災以降、地域における学校のあり方、地域のあり方について、防災を中心に根本からの見直しを迫られる1年でした。その中で、子どもたちは「自分たちにできる支援」に取り組んでくれた1年でもありました。

その取り組みの中心となって活動してくれた6年生が卒業し、それぞれが進級するときを迎えています。進級に際して、一人一人の子どもたちが、新年度のめあてを立てることのできる春休みを過ごしてほしいと思います。そのため、修了式では、次のようなことを子どもたちに投げかけたいと考えています。

- ① 今年度の学習、友だち関係など学校生活をしっかり振り返ろう。
- ② 振り返りの中で、良かった所、がんばらなければいけない所を見つけ、新しい学年のめあてをつくろう。
- ③ そのために、まずは、お手伝いをしっかり、そして、家庭での学習を位置づけた生活リズムのある春休みを送ろう。
- ④ 勉強のための用具をしっかり整え、新年度がスタートできるようにしよう。

《第120回卒業証書授与式の様子》

明治25年(1892年)、第1回卒業証書授与式を行ってから、120回目の卒業生を送りました。今年の卒業生は、第8607号～第8706号までの100名でした。

来賓として、四日市市教育委員会学校教育課長を始め、地域の代表者、学校関係者、PTA役員方25名の皆さんにご臨席いただき、盛大に挙行することができました。

「お祝いの言葉」として、大正から昭和にかけて、台湾の農業生産に多大な貢献をされた、八田与一さんの話を例に上げながら、今年度の卒業生が取り組んだ地域貢献、社会貢献の素晴らしさを今後の中学校生活の中でも忘れず、貢献することを通して、自己を鍛えていくことの大切さについて話をしました。



＜5年生の演奏する曲「威風堂々」にて入場＞



＜卒業生100名に卒業証書の授与＞



＜市長・教育委員会からの告示を学校教育課長が代読＞



＜PTA会長からの卒業記念品授与と「お祝いの言葉」＞

裏面に続きます



＜卒業生・在校生による呼びかけ＞

挿入曲

- ・きみに伝えたい（卒業生）
- ・ウィズ・ユー・スマイル（卒・在校生）
- ・ピリープ（在校生）
- ・旅立ちの日に（卒業生）



＜卒業生の退場、

そして、中学校へのスタート＞

《離任者・退任者》

この頃、修了式は離任式・退任式のときでもあります。今年度、八郷小学校を去られる教員は、次の通りです。

長い教員で7年間、短い教員で1年間、勤務年数の長さには隔たりはありますが、保護者の皆さん、地域の皆さんの

離任する教員

- | | |
|-------|---------------|
| 後藤 彰子 | 大矢知興譲小学校へ、 |
| 山下 里美 | 羽津北小学校へ |
| 西村 美香 | 大谷台小学校へ |
| 伊藤 瑞穂 | 桑名市立修徳小学校へ |
| 嵯峨 洋子 | 三重郡菟野町立千種小学校へ |
| 土井ゆかり | 桑名市立光風中学校へ |
| 小川 恵理 | 海蔵小学校へ |

退職する教員

- 小川 充夫

大きな支えと励ましの中で、職務をまっとうすることができました。改めて感謝を申し上げます。

八郷小学校で培った力を、転出していく学校でも発揮してくれることと確信しています。

《私事ですが》

校長として、最後の3年間の勤務をしましたが、37年間の教員生活では合計14年間、八郷小学校にお世話になりました。

パン屋に勤務のかたわら大学の二部を卒業し、右も左もわからない初任から7年間。この間は、体育の研究校として、

三重県の委託や四日市の委託を受けて、授業発表会を行ったことが思い出に残っています。また、今の給食室のところ、木造の講堂であり、あかつき台の団地ができ、児童数の急激な増加で全校児童が入れないという事態もありました。当時、担任していた子どもたちの何人かは、現在保護者として、学校の協力・支援をいただいています。拙い指導力の中で、若さだけで突っ走っていたそのときのことを思うと、たいへん恥ずかしい思いを持っています。

続いて、教頭として4年間お世話になりました。ちょうど現在の校舎の建築中であり、余裕教室も運動場もなく、運動会を四日市ドームで実施しました。平成15年には、落成式を盛大に行ったこともよい思い出です。そして、平成18年には、現在のコミュニティスクールの前進「地域・学校協力者会議」がスタートした年でした。

八郷小学校での勤務は、教師として管理職として自分を成長させてくれたと思います。ご支援いただきました、過去の、そして、今の保護者の皆様、また、地域の皆様に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。保護者の皆様も子どもたちのご健勝を祈念し、お別れの言葉とさせていただきます。

【こんなうれしいこともありました】

3月17日（土）、卒業する3名の子どもたちが学校に来て、「自分たちの使った教室とトイレの掃除をもう一度させてほしい」と言ってきました。3名の子どもたちは2時間以上に渡ってきれいに掃除をしてくれました。

前回の落書き落としや今回のトイレ掃除に参加してくれた子どもたちの姿こそ、八郷小学校のめざす、「かしこく あたたく たくましい子」であると思います。ありがとうございました。

